

証券コード：7681



株式会社 レオクラン

2021年9月期第1四半期 決算補足説明資料

2021年2月12日



目次

1	2021年9月期第1四半期累計経営成績	3
2	長期業績推移	8
3	2021年9月期通期業績予想	9
4	配当方針	12
5	業績・財務ハイライト	13



新型コロナ感染拡大の影響

<2021/9期1Q決算における影響>

- メディカルトータルソリューション事業では、足元の受注状況に大きな変化はなく、各案件の進捗は概ね想定どおりに推移しており、影響は軽微
- 遠隔画像診断サービス事業、給食事業においても、顧客別の需要増減はあるものの、影響は軽微

<2021/9期通期決算において予想される影響>

- メディカルトータルソリューション事業における病院の新增改築工事のペースは、回復の見通し
感染再拡大の影響は要注意だが、現時点で経済活動の再低下は想定せず
- 遠隔画像診断サービス事業、給食事業においても、同様にコロナ禍の影響は想定せず

2021年9月期第1四半期累計 経営成績①

- 主力のメディカルソリューション事業において、10億円規模の案件を含む医療機器の一括販売等が好調に推移したことにより増収、リプレイス案件及びスポット的な新規案件の受注も順調に推移
- 利益面では、進行中の案件における深耕営業の強化により当初の想定を上回る粗利率を確保する等、収益確保に向けた取り組みは一定の成果あり
- 2021/9期における医療機器の一括販売等の大型案件の売上計上は、上期偏重傾向が顕著

経営成績の推移

(百万円)	2020/9期 1Q実績	2021/9期1Q		2021/9期通期	
		実績	前年同期比 増減率	予想 ('20/11/13)	進捗率
売上高	6,208	7,971	28.4%	24,593	32.4%
メディカルトータルソリューション	5,944	7,691	29.4%	23,585	32.6%
遠隔画像診断サービス	153	162	6.2%	547	29.7%
給食	110	117	6.1%	460	25.4%
営業利益	23	405	—	352	114.9%
メディカルトータルソリューション	▲2	370	—	282	131.1%
遠隔画像診断サービス	17	23	33.7%	45	52.2%
給食	7	9	26.6%	24	40.9%
調整	0	0	0.0%	—	—
経常利益	22	404	—	363	111.2%
親会社株主に帰属する当期(四半期) 純利益	6	265	—	238	111.6%
1株当たり当期(四半期)純利益 (円)	3.27	135.98	—	121.81	—

2021年9月期 経営成績②

- 主力のメディカルソリューション事業において、主に10億円規模の案件を含む医療機器の一括販売が好調に推移したことにより増収。利益面では前年同期を大幅に上回る結果となり、収益力も向上
- 遠隔画像診断サービス事業、給食事業では緩やかな成長基調を維持

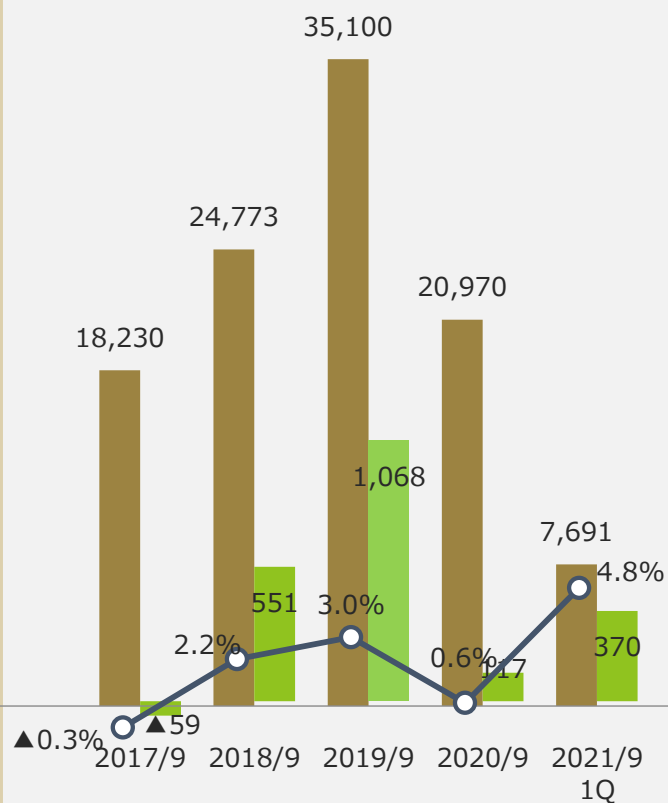
経営成績の推移

(百万円)	2019/9期		2020/9期				2021/9期	前年比 差異
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
売上高	11,310	7,860	6,208	6,132	3,384	6,272	7,971	1,763
メディカルソリューション	—	—	5,944	5,887	3,140	5,999	7,691	1,746
遠隔画像診断サービス	—	—	153	132	124	158	162	9
給食	—	—	110	113	119	116	117	6
営業利益	469	5	23	63	▲63	181	405	381
メディカルソリューション	—	—	▲2	40	▲80	159	370	373
遠隔画像診断サービス	—	—	17	9	5	14	23	5
給食	—	—	7	12	11	8	9	2
調整	—	—	0	1	0	2	0	0

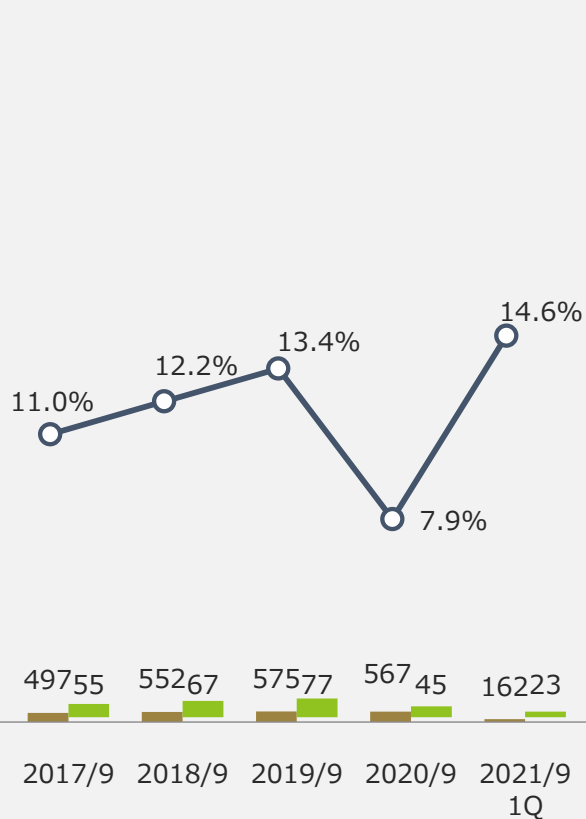
セグメント別業績推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業では営業利益率が大幅に改善。これは、進行中の案件における深耕営業の強化により、当初の想定を上回る粗利率を確保したことによるもの
- 遠隔画像診断サービス事業でも主に増収効果により営業利益率が大幅に改善
- 給食事業は堅調を維持

メディカルトータルソリューション事業



遠隔画像診断サービス事業



給食事業

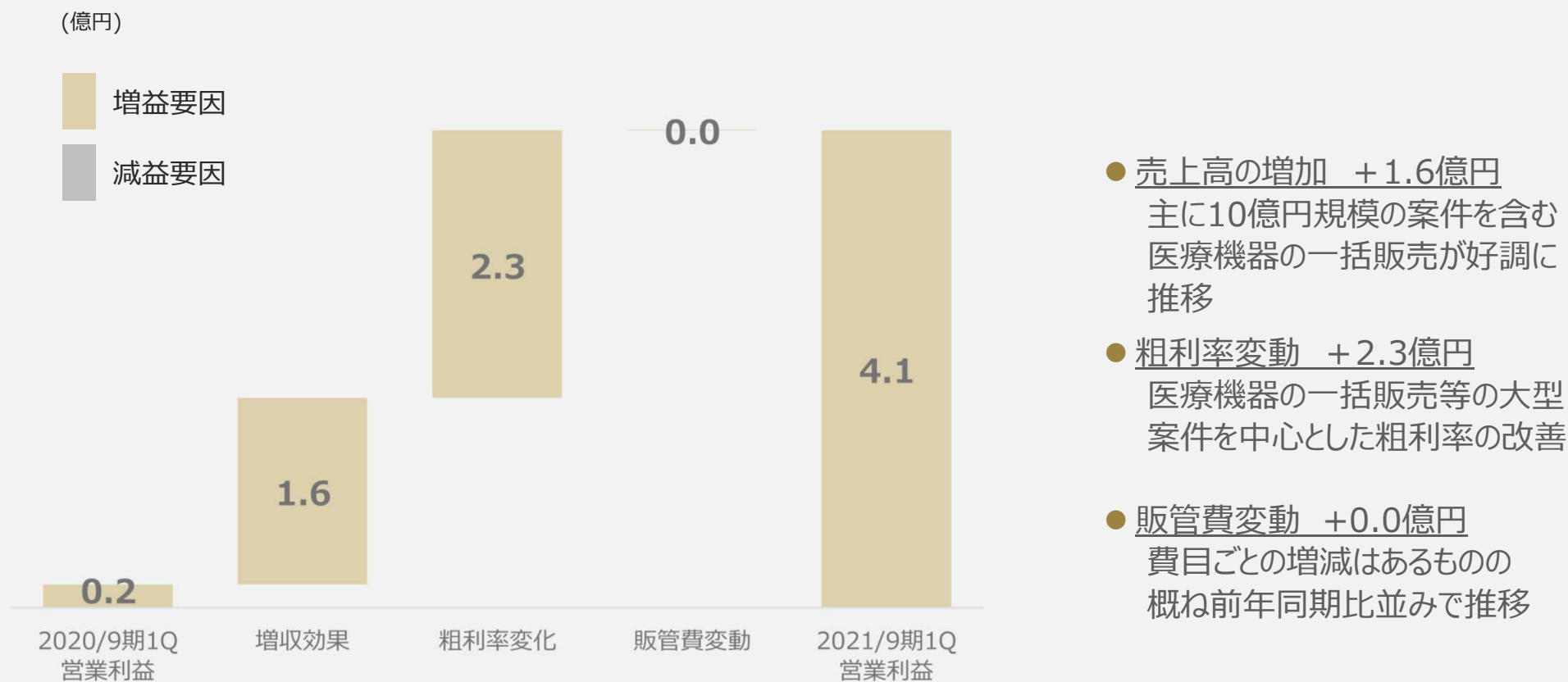




2021年9月期第1四半期 営業利益増減要因分析

- 大幅増益の主因は、10億円規模の案件を含む医療機器の一括販売が好調に推移したことによる増収効果と医療機器の一括販売等の大型案件を中心とした粗利益率の改善
- 販売費及び一般管理費は、費目ごとの増減はあるものの、概ね前年同期比並みで推移

営業利益増減益分析



2021年9月期第1四半期 財政状態

- 大型案件の売上集中により現預金・売上債権の流動資産、買掛金が前期末比で増加
- 潤沢なネットキャッシュ構造に変化はなく、事実上の無借金経営継続

財政状態の推移

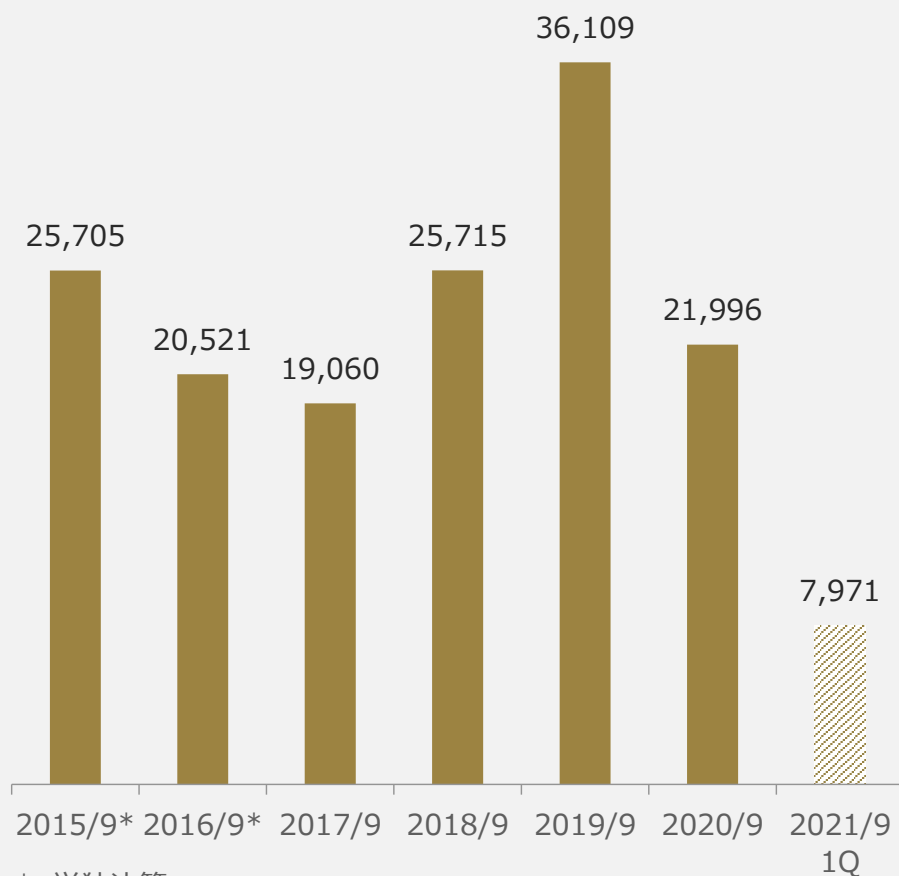
(百万円)	2019/9期	2020/9期	2021/9期1Q	前期差異
流動資産	11,573	12,198	14,009	+1,811
現預金	6,182	4,450	5,337	+886
受取手形・売掛金	5,269	6,652	7,348	+695
棚卸資産	28	60	267	+206
その他	97	1,034	1,056	+22
貸倒引当金	▲3	▲0	▲0	▲0
固定資産	1,241	1,215	1,226	+10
総資産	12,814	13,414	15,236	+1,821
負債	8,474	8,596	10,219	+1,623
買掛金	6,407	6,282	7,945	+1,662
有利子負債	433	338	157	▲180
その他	1,632	1,975	2,116	+140
純資産	4,340	4,817	5,016	+198
負債純資産合計	12,814	13,414	15,236	+1,821

長期業績推移

- 狩猟型なため、業績面でのボラティリティ発生は不可避。特に、2019/9期は大型案件の売上が集中した結果、2020/9期はその反動が発生。2021/9期からは改善基調に反転を想定
- コロナ禍もあり、受注端境期からの完全脱却には時間を要す。現在は次期以降への仕込み局面と位置づけ

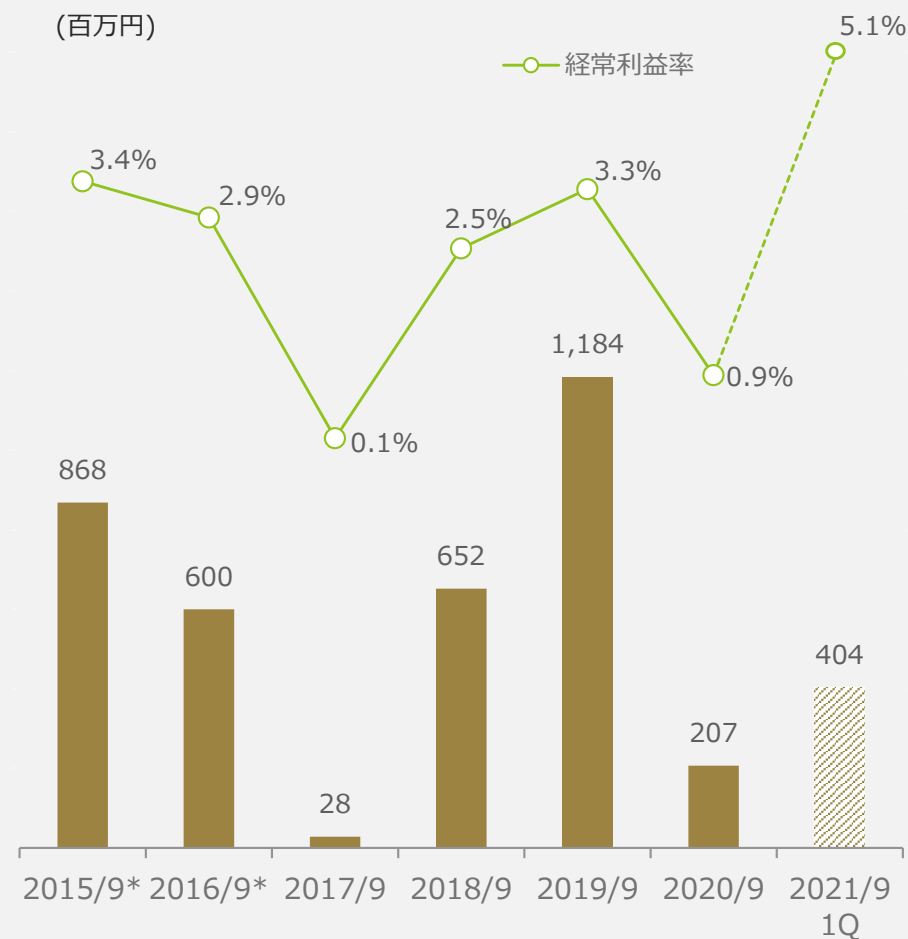
売上推移

(百万円)



経常利益推移

(百万円)



2021年9月期通期業績予想①

- 前年比増収増益を予想。主力のメディカルトータルソリューション事業では医療機器等一括販売の端境期が徐々に解消される見通し。深耕営業による付加価値向上により、粗利率改善にも注力
- コロナ禍によって中断していた病院の新增改築計画も緩和となる可能性大。次期以降の仕込みも急ぐ

経営成績の推移

(百万円)	2019/9期	2020/9期	2021/9期 見通し	前期比較	
				差異	増減率
売上高	36,109	21,996	24,593	+2,597	+11.8%
メディカルトータルソリューション	35,100	20,970	23,585	+2,615	+12.5%
遠隔画像診断サービス	575	567	547	▲20	▲3.4%
給食	432	458	460	+2	+0.2%
営業利益	1,190	204	352	+148	+72.6%
メディカルトータルソリューション	1,068	117	282	+165	+140.4%
遠隔画像診断サービス	77	45	45	+0	+0.6%
給食	41	38	24	▲14	▲36.5%
調整	3	3	-	▲3	-
経常利益	1,184	207	363	+156	+75.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	732	120	238	+118	+97.0%
1株当たり当期純利益 (円)	411.31	62.51	121.81	+59.3	+94.9%

2021年9月期通期業績予想②

- メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売では、売上件数の増加を想定。特に、20億円以上の大型案件の増加は利益率改善に大きく寄与する見通し
- ただし、受注端境期からの完全脱却にはまだ至らず。本格回復は2022/9期以降となる見込み

メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

(百万円)		2019/9期	2020/9期	2021/9期 見通し	前年比 差異
20億円以上	売上高	15,277	2,562	4,014	+1,452
	件数	4	1	2	+1
	平均単価	3,819	2,562	2,007	▲555
10億円以上	売上高	4,634	2,954	1,260	▲1,694
	件数	3	2	1	▲1
	平均単価	1,545	1,477	1,260	▲217
1億円以上	売上高	1,833	2,856	4,054	+1,198
	件数	6	8	11	+3
	平均単価	305	357	368	+11
1億円以下	売上高	86	71	80	+9
	件数	1	2	2	0
	平均単価	86	35	35	0
合計	売上高	21,831	8,445	9,409	+964
	件数	14	13	16	+3
事業売上に占める一括販売比率		62.2%	40.3%	39.9%	▲0.4pt

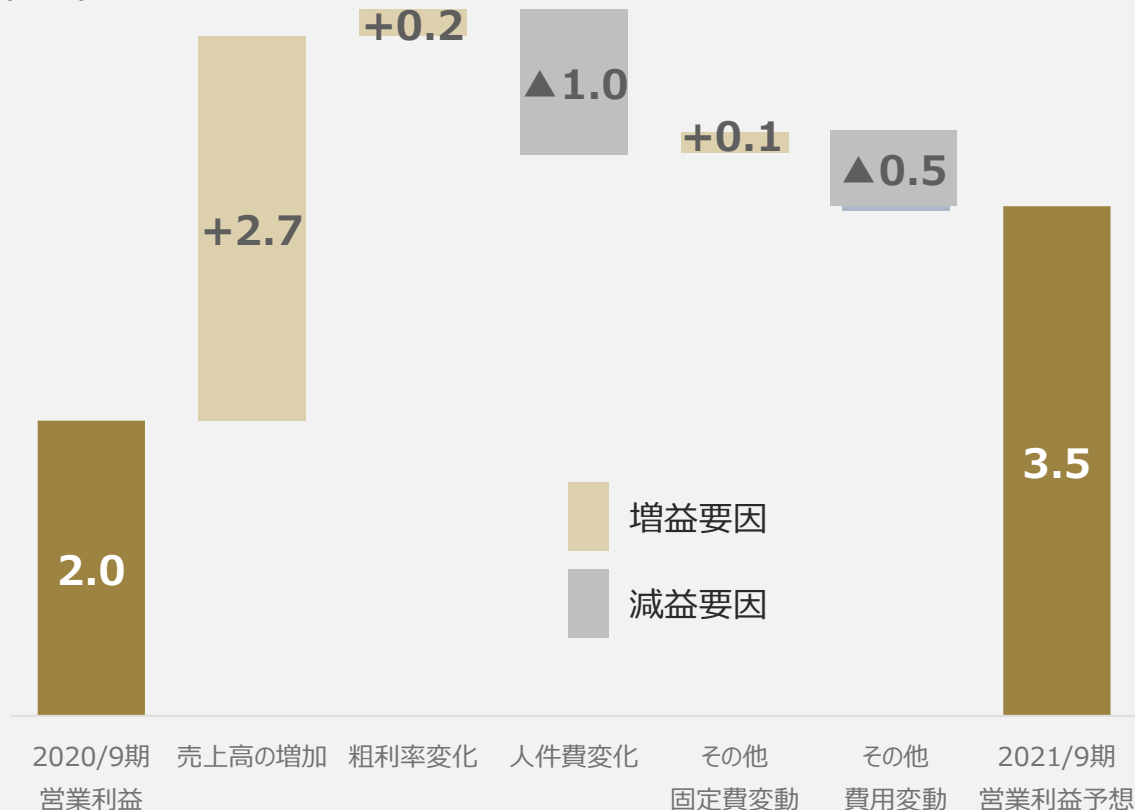


2021年9月期 営業利益増減要因分析

- 増益を牽引するのは、端境期が徐々に緩和してくることに伴う増収効果。大口案件の増加や深耕営業による粗利率改善も貢献する見通し。さらに、前期にあった上場関連費用の減少も増益要因となる見込み
- 一方、営業力強化に向けての新卒採用等により人件費が上昇。旅費交通費など営業費用の上昇も加わり、コスト面では増加が不可避と想定。それでも増収効果などで吸収し、営業増益となる見通し

営業利益 想定増減益分析

(億円)



- 売上高の増加 +2.7億円
一括販売案件の端境期は徐々に緩和
- 粗利率変動 +0.2億円
深耕営業による付加価値拡大を想定
- 人件費の増加 ▲1.0億円
既存社員の昇給、新卒採用(7人)を計画
- その他固定費の減少 +0.1億円
上場関連費用の減少など
- その他費用変動 ▲0.5億円
旅費交通費の上昇 ▲0.3億円



配当方針

2021/9期は 前回発表のとおり1株当たり40円を計画

- 2020/9～2021/9期は受注端境期のために一時的に配当性向が上昇する計算ながら、安定配当方針堅持を優先
- 将来的に配当性向は20%前後とし、安定的に配当を実施する方針

<1株当たり情報の推移>

(円)	2019/9期	2020/9期	2021/9期	
			計画	前期比差異
1株当たり当期純利益	411.31	62.51	121.81	+59.30
1株当たり配当金	40	45	40	△5
配当性向	9.7%	72.0%	32.8%	△39.2pt

- (注) 1. 配当性向は、1株当たり配当額/1株当たり当期純利益で算出しております。
2. 2020/9期は、普通配当40円に加え、上場記念配当5円を増配し、1株当たり45円の配当となっております。



業績・財務ハイライト

決算年月		2016年9月*	2017年9月	2018年9月	2019年9月	2020年9月期	2021年9月期 1Q
売上高	(千円)	20,521,030	19,060,958	25,715,941	36,109,029	21,966,890	7,971,544
経常利益	(千円)	600,103	28,463	652,381	1,184,035	207,244	404,407
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	391,391	242,509	357,645	732,959	120,839	265,753
包括利益	(千円)	–	290,524	396,399	735,628	141,111	290,309
資本金	(千円)	123,000	123,000	331,507	331,507	536,169	536,169
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	4,920	4,920	1,784,000	1,784,000	1,954,400	1,954,400
純資産額	(千円)	2,451,309	2,905,240	3,682,163	4,340,511	4,817,569	5,016,334
総資産額	(千円)	7,385,322	12,047,141	12,875,910	12,814,634	13,414,303	15,236,242
1株当たり純資産額**	(円)	496,916.47	2,870.05	2,016.04	2,376.58	2,408.78	2,508.89
1株当たり配当額	(円)	4,000	4,000	40.0	40.0	45.0	(計画) 40.0
1株当たり当期純利益金額**	(円)	79,713.23	246.95	323.64	411.31	62.51	135.98
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	(円)	–	–	–	–	61.85	135.73
自己資本比率	(%)	33.0	23.4	27.9	33.0	35.1	32.2
自己資本当期純利益率	(%)	17.4	9.0	11.2	18.7	2.7	5.8
配当性向**	(%)	5.0	16.2	12.4	9.7	72.0	–
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	▲718,460	962,625	2,764,536	▲1,906,273	–
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	107,722	▲52,847	▲91,784	▲63,598	–
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	▲7,334	203,275	▲213,022	238,372	–
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)		2,589,499	3,702,552	6,162,281	4,430,782	5,317,759
従業員数	(人)	96	147	153	155	157	156
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(3)	(37)	(38)	(39)	(54)	(54)

*単独決算

**2015年8月10日付で株式分割(1:2)、2018年9月13日付で株式分割(1:200)を実施。それぞれ2015年9月期期首、2017年9月期期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益額を算定しております。



ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づき、なされるようお願いいたします。

問い合わせ先
IRサポート担当
06-6387-1554
ir-support@leoclan.co.jp